

回覧

会津若松市区長会では町内会加入促進に取り組んでいます

会津若松市

# 区長会会報

～住みよいまちづくり～

令和4年2月1日 No.86

会津若松市区長会 市長との対話集会

令和3年10月28日  
市長との対話集会の様子

## 目次

会長あいさつ……………P 2  
令和3年度 事業内容・計画……………P 2  
令和3年度 収入支出予算……………P 2  
表彰……………P 3  
部会紹介……………P 4～5

各地区の活動紹介…………… P 6～10  
役員紹介…………… P 10  
編集後記…………… P 10  
区長会会報第86号編集者 …… P 10



会長あいさつ

会津若松市区長会

会長 渡部 洋 子

(一箕地区区長会地区会長)

平素より、地域の皆様におかれましては、各町内会を通して  
本会活動に御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本会の主事業の一つであります「町内会加入促進」事業につ  
きましては、市並びに県宅地建物取引業協会会津若松支部の皆  
様方の御協力を得て、ここ数年の町内会加入率は9割を超える  
高い水準で推移しているところであります。この場をお借りし  
まして、改めて皆様に感謝申し上げます。

さて、本年度の本会の事業ですが、昨年度に続き、新型コロ  
ナウイルス感染症の影響により、相次いで中止を余儀なくされ  
たところがあります。その中で、産業部会では、玄武隊として  
会津藩公行列へ参加しました。また、総務部会の「市長との対  
話集会」や、教養部会の「全市区長研修会」を、新型コロナウ  
イルス感染症防止対策を講じた中で実施することができたこと  
ろです。

近年、少子高齢化やライフスタイルの多様化などにより、地  
域では、様々な課題が生じています。こうした中、各町内会に  
おける、知恵を出し合いながらの地域課題の解決に向けた取組  
は、町内会活動の活性化や地域の絆を深め、ひいては災害時や、  
コロナ禍における新しい生活様式の普及にも役立つものと認識  
しております。住民の方々の安心・安全な生活を守るために、  
身近な町内会の存在は、ますます重要になってくるものと考え  
ております。

このような社会情勢において、安心・安全な住民生活のため  
に、本会は住民と行政のパイプ役として、引き続き活動する所  
存であります。今後とも皆様の特段のお力添えを賜りますよう  
お願い申し上げます、会報発行のあいさつとさせていただきます。

令和3年度 事業内容・計画

実施月日	事業名
4月～5月	各地区清掃事業(各町内会による)
4月2日	会計監査
4月6日	役員会
4月10日	クリーン鶴ヶ城作戦参加(中止)
4月13日	選考委員会
4月27日	定時総会(書面表決による)・ 区長委嘱状交付式(中止)
5月27～ 28日	役員・各部署委員委嘱状交付式(中止)、 四部会(中止)
5月31日	正・副会長会議
6月11日	地区会長会議 (書面表決による 実施月日は報告日)
6月12日	新任区長研修会(中止)
7月5日	総務部会・教養部会
7月6日	厚生部会・産業部会
8月3日	役員会
8月26日	正・副会長会議
9月10日	役員会
9月19日	会津まつり 会津藩公行列参加
9月26日	環境フェスタ参加(チャリティーバザー)(中止)
10月4日	中間会計監査及び令和4年度予算編成に 係る打合せ
10月21日	産業部研修会
10月28日	市長との対話集会
11月19日	全市区長研修会
12月15日	役員会及び令和4年度予算編成に係る打合せ
12月17日	総務部会
1月4日	新年市民交歓会
1月26日	役員会(役員・各部署委員新年会は中止)
2月1日	区長会会報第86号発行
2月	四部会
3月	役員会

令和3年度 収入支出予算

収入の部 (単位:円)

項目	本年度 当初予算額	前年度 予算額	比較増減	説明
1. 会費	2,024,000	2,024,000	0	4,000円×506町内会=2,024,000円
2. 市補助金	5,679,000	5,679,000	0	
3. 諸収入	968,000	968,000	0	
(1)協力金	506,000	506,000	0	社会福祉協議会より
(2)預金利子	1,000	1,000	0	
(3)保険料	445,000	445,000	0	町内会活動保険料(各町内会負担分)
(4)その他の収入	16,000	16,000	0	区長バッジ
4. 繰越金	500,543	509,538	△8,995	前年度繰越金
収入合計	9,171,543	9,180,538	△8,995	

支出の部 (単位:円)

項目	本年度 当初予算額	前年度 予算額	比較増減	説明
1. 事業費	8,247,543	8,400,538	△152,995	
(1)総会費	241,000	180,000	61,000	総会案内等送付代 他
(2)会議費	70,000	74,000	△4,000	役員会等会場費 他
(3)生活環境整備費	2,180,000	2,135,000	45,000	麻袋購入費、配布手数料 他
(4)研修費	989,000	1,181,000	△192,000	新任区長研修会、 全市区長研修会 他
(5)広報活動費	133,000	144,000	△11,000	区長会報印刷代
(6)報償費	80,000	90,000	△10,000	緑、退会者記念品 他
(7)慶弔費	50,000	50,000	0	花環代 他
(8)部活動費	135,000	140,000	△5,000	部活動費
(9)交際費	199,000	199,000	0	会長交際費、新年市民交歓会会費等 各種会議出席旅費(全国自治会連合 会全国大会出席 他)
(10)旅費	158,000	161,000	△3,000	
(11)保険料	1,095,000	1,130,000	△35,000	傷害保険料、賠償責任保険料
(12)地区会長 事務連絡費	512,000	512,000	0	18地区会長事務連絡費
(13)地区区長 交付金	2,384,000	2,384,000	0	18地区区長交付金
(14)雑費	21,543	20,538	1,005	
2. 事務費	924,000	780,000	144,000	
(1)消耗品費	135,000	130,000	5,000	事務用消耗品
(2)通信費	350,000	230,000	120,000	文書発送郵券代 他
(3)印刷費	94,000	120,000	△26,000	区長会封筒印刷代
(4)手数料	251,000	206,000	45,000	区長会報配布委託手数料、 振込手数料 他
(5)負担金	94,000	94,000	0	福島県自治会連合会会費 他
支出合計	9,171,543	9,180,538	△8,995	

# 表彰

区長として市政発展に寄与するとともに、本会発展のために尽力された次の方々が令和3年4月に表彰されました。

## 市長表彰贈呈者

### ○表彰状及び記念品

(10期以上在職者)

嬭竹ヶ丘 石田 忠司

### ○表彰状

(3期以上在職者)

滝沢町三丁目 竹谷 透

堅三日町中之区

菊地 武

上五之町 渡部 昭一

すみれが丘 斉藤 貢一

馬場上三之町 松本 眞一

小桜町 高木 誠子

七日町二丁目 布家 儀信

桂林寺町四・五丁目

渡部 博之

当麻町一之区 加藤 庄次

鈴懸町 原田憲之助

達摩 北野原 進

沢 鹿目 文雄

西年貢一丁目 大沼 健治

井手 肥田野全史

## 区長会感謝状

### 贈呈者

### ○感謝状及び記念品

(10年以上在職し、  
退任された会員)

甲賀町二丁目 田中 静夫

徒之町 内藤 陸朗

深川北 山内 堯

八幡南ニユータウン

渡辺 清照

### ○感謝状

(4年以上在職し、  
退任された会員)

滝沢町二丁目 加藤 直一

南横町 笠原 和夫

馬場下三之町 佐藤 幸夫

厩町 栗城キミイ

金川町 菊地 良三

柳町 吉田 孝男

当麻町一之区 加藤 庄次

日新町 中村 政男

若葉町 稲田 盛夫

川原町二丁目 二宮 公

上荒久田 窪田 等

如來堂 菅 義信

飯寺二区 福島 祐介

井手	肥田野全史
天寧	林 敬幸
居合町東区	穴澤 一英
堤町北区	渡部 重夫
大塚二区	中村 忠典
宮内区	星 憲隆

## 福島県自治会

### 連合会表彰

上雨屋	佐竹 信幸
桑原	芳賀 良隆
田代	佐藤行都久
館	坂内 和彦
金屋	鈴木 利英
田中原	幸江

## 全国自治会

### 連合会表彰

原田	鈴木 啓次
新屋敷	安西 好信
一本木	星 昇
大林	鈴木 誠一
六軒	谷 邦弘
高ノ下	三城雄次郎

## 地縁による団体功労者

### 総務大臣表彰



県自治会連合会表彰者(市長室にて)



全国自治会連合会表彰者(市長室にて)



地縁による団体功労者総務大臣表彰者(市長室にて)

住民自治組織の発展向上に尽力された長年の功績に対し、令和3年7月19日に開催された福島県自治会連合会定期総会において、次の方々が表彰されました。

北柳原	宮城 卓二
栄町二丁目	唐橋 廣吉
上四之町	大竹 英典

住民自治組織の発展向上に尽力された長年の功績に対し、全国自治会連合会より、次の方々が表彰されました。昨年度は表彰が延期され、令和3年11月に2年度分の表彰となりました。

令和2年度表彰	栄町下三丁目 伊藤 洋
令和3年度表彰	滝沢 荒井 利晴

町内会等の地縁による団体の代表者として、長年にわたり良好な地域社会の維持・形成に尽力された功績に対し、令和3年11月に総務大臣より、次の方が表彰されました。

嬭竹ヶ丘	石田 忠司
------	-------

# 部会紹介

## 総務部会の

### 活動について



総務部長 芳賀 修二  
(大戸地区区長会会長)

#### ●市長との対話集会

令和3年10月28日、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、市長との対話集会が、ルネッサンス中の島において開催されました。区長の出席は、63名でした。市当局からは、市長のほか、関係部長及び課長5名、来賓には、市議会より総務委員会、文教厚生委員会、産業経済委員会、建設委員会の各委員長4名のご出席を賜りました。対話集会では、令和2年度の要望事項の経過、令和3年度要望事項それぞれについて、市当局からの回答の後、質疑応答が行われました。質疑応答では、要望を提出した地区より様々な質疑が出され、閉会時間まで活発な意見交換が行

われました。  
なお、令和3年度要望事項は、次のとおりです。

1. 城西地区の「水害避難場所の確保」について
2. 市道幹1-6号線の今後の変更につきまして
3. 神指城址の国史跡への指定と整備
4. 防災に関する情報提供と支援及び対応策について
5. 道路の安全確保について
6. 大戸地区における保育施設の設置について
7. 会津若松市湊地区における再生可能エネルギー発電施設の一部計画の中止について
8. 北会津地区内市道北3-339号線、北3-348号線の整備事業について

#### ●区長会報の発行

持ち回りにより、9地区から寄稿いただいた原稿に対して、総務部会において編集作業を行いました。新型コロナウイルス感染症が収束し、各町内会においての活動が、もとのように活発になることを願うばかりです。

今回、無事に第86号会報を発行することができたことに対しまして、皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



区長会会報編集作業の様子

## 教養部会の

### 活動について



教養部長 荒井 利晴  
(一箕地区区長会副会長)

#### ●新任区長研修会の開催

昨年6月に開催を予定しておりました新任区長研修会は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止となりました。

#### ●先進都市研修視察の開催

地域コミュニティ活動の参考事例を賜り、情報交換を行うため、先進都市研修視察を例年7月頃に

開催してりましたが、新型コロナウイルス感染症の劇的な収束が見込めない限り、視察先での受入が困難であると予想されたことから、今年度は事業計画とはせず、見送りとしました。

#### ●全市区長研修会の開催

昨年11月19日に会津若松市文化センターにおいて、区長141名参加のもとで開催されました。講師に、会津若松市教育委員会文化課の近藤真佐夫氏をお招きして、「若松城と神指城のつくりと見どころ」について地域活性化のヒントとなる内容を交え、講演をいただきました。続いて室井市長より、「会津若松市の未来」と題した講話をいただきました。参加者は、まちづくりへの理解を深めていた様子でした。



講演のスライドに見入る参加者

## 厚生部会の活動について



厚生部長 岩淵 勝雄  
(城西地区区長会副会長)

「環境フェスタ」の「チャリティーバザー」コーナーは、厚生部会が担当する最大のイベントであります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年の「環境フェスタ」は中止が決定となりました。

「環境フェスタ」は、環境保全への関心を市民の皆様を高めていただくために毎年9月に開催され、厚生部会も毎年「チャリティーバザー」コーナーを設けていました。令和2年に引き続き、誠に残念ですが、2年連続の中止となりました。今年は新型コロナウイルス感染症も収まり、「チャリティーバザー」が開催されることを期待したいと思います。

また、厚生部会の主たる事業のうち、特に年間を通しての「間口清掃の実施」については、各地区

町内会へのPRチラシの配布と共に、気軽にを行うことのできる自宅周辺の清掃の実施を呼びかけます。

さらに、ごみ分別回収、環境保全、犬猫その他ペット類のフン害をなくす運動、カラスのフン害や鳥害対策、アメシロ消毒など様々な活動への協力を、各地区それぞれに密にならないよう工夫しながら実施していただいております。心より感謝申し上げます。

これからの事業により、当部会では地域の生活環境向上を目指して参りますので、皆様のさらなるご支援ご協力をお願いいたします。活動報告とさせていただきます。



## 産業部会の活動について



産業部長 松島 武司  
(鶴城地区区長会会長)

### ●会津まつり「会津藩公行列」について

9月19日、10時30分から先人感謝祭に引き続き実施された今年度の藩公行列は、コロナ禍により旧陸上競技場での行列となった。玄武隊として産業部から10名の参加者を募り参加した。グラウンド一周・観客なしの行列であったが、幸いにして好天に恵まれ、参加者各人は、歴代続く行列の意義を感じながらの行列となった。

### ●産業部研修会について

本年度も企業などを訪問する研修は行えず、講師を招いての研修となった。現環境であることから、13名の参加となった。

10月21日に市役所追手町第二庁舎において、左記内容で実施された。  
1.「新型コロナウイルスによる農業への影響やそれに対する市の

取組等について」

講師 市農政課 庄司 勝紀氏  
(講演概要)

コロナ禍による地場農業生産品に対する販売量への影響、これに対する支援内容等につき説明がなされた。

特に米作については、需要が大幅に減少、苦肉の対応策として家畜飼料米に転換せざるを得ない状況にもなっている。

2.「会津産業ネットワークフォーラム(ANF)の活動等について」

講師 ANFコーディネーター 山口 稔氏  
(講演概要)

会津地域のものづくり企業が産学官連携体制の下、企業力の向上、各企業の人材育成等につき連携を組み活動している。2008年に発足し会津17市町村を網羅して現在77社が会員となっている。過去から現在に至るまでの、具体的な活動について紹介された。



会津藩公行列に参加

# 各地区の活動紹介

## 町内会と

### アフターコロナ



鶴城地区 城前二之区町内会  
区 長 土屋 稔

当町内会「城前二之区」は鶴ヶ城・県立博物館の北側、若松第二中学校と会津工業高等学校の間に位置しています。町内には、白虎隊士井深茂太郎生家跡があります。

城前二之区町内会は全世帯110戸で、戸建てが半分、宿舍や寮、事業所などで半分です。

近年の活動では、「防犯灯28灯のLED化」と「ゴミ置場に折りたたみケースの設置」を実施し、電力費の削減とカラス対策に効果がありました。

厚生事業の夏のフェスティバルと秋のいも煮会は、昨年度、今年度と中止しております。

代替行事として、昨年度は「鶴ヶ城井戸23箇所探索ウォーク&昼

食会」、今年度は「防災出前講座」を実施しました。

また、3年前には昨今の自然災害の大型化に対応すべく、町内会に自主防災組織「城前二之区防災隊」を発足しました。市・社協・医療生協の方々の助けを受け、安心安全の町を目標に進めています。

また、町内には「やすらぎ会」(70歳以上任意加入)と「城二会」(年1回の旅行会)があり、町内の親睦に貢献しています。

今後の課題として、高齢者支援への協力や子育て支援への協力、SDGsに向けた取り組みとして、①エネルギーをクリーンに②共助のまちづくり③心と体の健康増進など、できることから進めていきたいと思っております。



鶴ヶ城探索ウォークでの集合写真

## 馬場新道

### 町内会について



城北地区 馬場新道町内会  
区 長 山口 隆博

馬場新道町内会は、JR会津若松駅から南東に徒歩で5分以内の距離で、中央通り西側沿いから馬場通りの間に位置し、110世帯中94世帯が入会しております。

ここで、馬場新道町内会の町名についてご紹介いたします。私が住んでいる「馬場新道」は、昭和50年12月より「町北町大字石堂字馬場道東」と町名が変わり、昭和57年2月からは現在の「中央三丁目」となりました。会津都市計画大町土地区画整理事業により、凹凸だった隣地との境界線も直線となり、分かりやすくなったものです。しかし、この旧町名も親しみと歴史があり、後世に残しておきたい大事なものです。さて、一昨年より新型コロナウイルス感染症により生活様式が一変いたしました。我が町内会も、

全ての事業で少しずつ調整し活動しております。3月の総会では懇親会を中止、4月から10月の大町中央公園での清掃奉仕活動や年2回実施するアメシロ駆除消毒は、マスク着用で密にならないように短時間で、ラジオ体操では期間を6日間に縮小、花火大会も時間を短縮、子供会・青年部会・老人会合同による夏休み小旅行は、2年続けて中止となりました。

皆様も、極めて厳しい感染状況ではありますが、早く元の町内会活動に戻れるよう頑張りましょう。

## 対馬館団地町内会の自主防災について



城西地区 対馬館団地町内会  
区 長 室野井 光雄

「災害が起きたらどのように行動すればよいのか」

会津若松市が作成した「防災ガイドブック」等を参考にして、各町内会の状況と事情を踏まえ、対馬館団地町内会独自の防災マニユ

アルを考えました。近年は、大規模災害が数多く発生しています。

会津若松市においても、大規模災害がいつ発生してもおかしくありません。自分の身は自分で守る「自助」と、地域コミュニティにおいてお互いに助け合う「共助」が非常に重要となります。

対馬館団地町内の特徴としては、男性43%、女性57%と女性多数です。働き世代は50%で、男女共に高齢者が多く、平日等は留守番部隊です。現在、避難行動要支援者の方は、約30名おられます。災害から町内を守るために、防災の重要性をしっかりと認識し、町内会として「自助」や「共助」を実現させることが必要と感じています。現在、令和4年度からの、「対馬館団地町内会独自の自主防災マニュアルの作成計画」組織の決定」の実施を目標に、令和3年度中に会津若松市自主防災組織設立への正式な申請を行うことについて活動しているところです。

具体的には、昨年8月～10月までの3か月間、防災についての町内役員会検討会議を、次のとおり行いました。

○あいべあの登録

○会津若松市総合防災訓練講座

(市危機管理課の出前講座にて)

○自主防災マニュアル(案)作成  
○組織の決定、役割分担

○災害時の避難場所の明確化

○10月31日 自主防災マニュアルについての課題要望住民へのアンケート実施(特に住民が不安に思っていること等)：集計の結果、避難訓練の実施を望む声が多かった。

団地は4階建てなので、特に高齢者は足腰に不安を抱える方も多く、避難旗(助けを求める赤い旗)の使用も検討しています。

今年度は、安心安全のためにも、実践訓練を通して防災力を高め、地域住民の「自主防災マニュアルに従って行動できる」という意識向上につなげていくために、引き続き活動していきます。



消火器による訓練

## 橋本木流

### 町内会の活動



高野地区 橋本木流町内会

区 長 穴澤 宜之

橋本木流町内会は、29世帯からなる町内会です。会津のシンボルである磐梯山を仰ぎ見て、北西には飯豊連峰が目に見え、北西には風光明媚な雄大な田園地帯にあります。また、国道121号線や会津縦貫北道路入口も近く、利便性に富んだ地区です。

さて、私達の町内会活動は、まず春の木々が芽吹く頃行われます。町内の集会所東側から約1・5kmにわたり、側溝にたまった土砂をあげるなど、ハードな力仕事を若男女力を合わせて、住民総出で作業を行っています。さらに、毎年2回にわたり、早朝より橋本木流公園の除草や整備作業も実施しています。もちろん作業終了後は、住民相互の慰労と交流を行い、親睦も深めております。

当地区も近年は少子化・高齢化

の波が見られます。地区住民組織も、昔からの家、最近転入された家など多様です。役員と各種団体の方々の協力により、地区の運営が上手にできていると感じています。

町内会活動は、「地域の方々から安全に安心して生活できる環境づくり」という思いで、全員一丸となつて活動しています。この住民の方々の思いを大切にして、諸行事を行っていききたいと思います。

## 一ノ堰町内会の

### 紹介と活動について



門田地区 一ノ堰町内会

区 長 佐藤 稔

一ノ堰町内会は、門田地区の南側に位置し、会津鉄道の南若松駅を起点にすると、南北に長い地形となり、東側には会津総合運動公園、西側には一ノ堰工業団地、漆器団地、大川があり、会津美里町とを結ぶ本郷大橋もあります。

町内を囲むように、田畑があり、農作物の生産も盛んです。町内の

中央には、NHK大河ドラマ、八重の桜で有名になった山本八重の父山本権八の墓も、光明寺の境内に、ひっそりと納められています。さらに南側には、当地区の鎮守神、磐梯神社と、毎年8月23日と24日の2日間にかけて実施される、一ノ堰盆踊り祭りの会場となる、萩之原六地藏尊があります。

町内構成は、216世帯、人口は約655人です。その内65歳以上の高齢者は288人で、高齢化率は34・8%と高い水準にあります。また、農業従事世帯（兼業含む）は62世帯で、28・7%もの住民が、何らかの形で農業に関わっており、新興住宅地の町民と旧町民が居住するモデル地区のような町内です。

町内の活動としましては、年度計画として、町内の外灯のLED化を進め、5年目の今年度で全ての切り替えが完了しました。また、15か所のゴミステーションの新築、改修も今年度で完了しました。いずれも、町内では重要な課題でした。今後も、町内道路の舗装化や水路の補修等を、市への陳情と相談の中で進めていきたいと思っています。

さて、昨年度、今年度と、コロナ禍のため町内の様々な行事を中止

せざるを得ない状況でしたが、活動を継続できた当町内会の「桜の会」の活動の一部を紹介します。

市の若松第3地域包括支援センター様の指導の元、毎月、各種行事を企画しています(サロン活動)。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、中止や内容の変更などはありましたが、対策を講じたうえで開催し、毎回参加者は多数です。各種ゲーム、お花見、体力測定、Wi-Fiボーリング、クリスマス会、カラオケ等を実施し、高齢化率の高い当町内会にとっては、重要な位置付けとなっています。参加者の生き生きとした笑顔や行動を見ると、「元気の源は健康から」と、改めて考えさせられます。市の事業も活用しながら、さらに充



桜の会のサロン活動  
(令和元年のクリスマス会)

実した活動ができればと思います。コロナ禍が収束して、中断せざるを得なかった各種行事が再開され、町民が一体となって楽しめることを願いながら、今から準備をしておきたいと思っています。

## 区長の任期について一考



一箕地区 北柳原町内会  
区 長 宮城 卓二

新型コロナウイルス感染症のために、町内会活動規模をやむを得ず縮小せざるを得ない中、一箕地区環境美化推進協議会として、環境美化につながる標語の看板を作成し、北柳原町内会区域内のほか、一箕地区各所に掲示しました。標語としたのは、マナーではなくルールです。ルールを守る、住みよい町内会づくりを、引き続き推進していきたいと考えております。さて、一箕地区は、町内会が56あり、当然同数の区長さんがおられます。区長の任期も一任期2年

が原則ですが、町内によりまちまちで、また「会津若松市区長等に関する規則」第4条に定めている市のサイクルとずれている町内会、任期1年の町内会と様々です。

市区長会創立60年の節目の時、臨時総会を開き、欠席の区長様には委任状の提出をお願いし、原則として市のサイクルに合わせる決議をした経緯があります。一部の町内会は、その後市のサイクルに合わせていただきました。

それぞれの経緯があり、サイクルの統一は私たちの中での課題です。委任状及び決議は非常に重いものであると考えておりますが、会津若松市区長会として総意一本化は課題であり、毎年の区長委任状交付は2年に一度と統一されれば、事務処理の無駄も解消され、スッキリした形で会津若松市区長



町内に設置した環境美化の看板



会の益々の発展もあるのではと常に考えております。

希望として現在の市のサイクル

に合っている町内会はそれで良し、そうでない町内会は、一考されてみてはいかがでしょう？

## 湊地区における再生可能エネルギー 発電施設の一部計画の中止について



湊地区 西田町町内会  
区 長 小檜山 昭一

湊地区は中山間地域であり、16町内会により構成されています。少子高齢化、人口減少が加速する中、地域活動の維持が困難になりつつあります。このような状況に対し、湊地区全体で地域課題を解決するために考え、実践することを通して、地域住民の福祉増進、産業・生活文化の振興等に寄与しています。また、地域自治・生活福祉・産業交流・教育環境といった分野ごとに、協働による地域づくりを推進することを目的に、様々な事業の展開もしています。

湊地区長会は、昨年8月27日、共和地区側山頂で計画されている㈱イメージワン風力発電事業が、土砂災害特別警戒区域指定地の起点に当たるとして、経済産業省を訪れ、江島副大臣へ認可しないよう要望書を提出しました。計画では、大型風車(143m)5基、工事管理用道路(約4km)が計画されています。住宅地から約730mの距離で、土砂災害警戒区域の起点になっており、相当量の盛土が想定されます。

近年では、記録的な豪雨災害が全国的に頻繁に発生し、昨年7月3日には静岡県熱海市伊豆山地区において発生した土砂災害で、多くの尊い命が奪われています。地域住民が後世まで引き継ぐことのできる、安全・安心な湊地区の将来に向け、計画を認可しないよう要望しました。

引き続き、事業計画の白紙を求め、引き続き、事業計画の白紙を求

める運動を地区として継続し、「みんなと地域が輝き続けるまち」を実現していきたいと思えます。



要望書提出の様子

## 地道な 防犯活動について



日橋地区 六丁町内会  
区 長 児島 均

日橋地区は、会津若松市の北西部に位置する河東町の中心部にあり、25の町内会で構成されています。六丁町内会は、その中で戸数128戸の中規模の町内会です。一昨年から続く新型コロナウイルス

感染症により、伝統行事やスポーツ行事は軒並み中止に追い込まれてしまいました。

そんな中でも、地道に活動を続ける防犯活動についてご紹介いたします。隣接する塩新町内会と共同で「六新防犯協会」を組織し、両町内会をエリアとし、主に防犯灯の設置、維持管理と月1回の夜間防犯パトロール、さらに年2回の防犯啓発活動を実施しています。長い歳月の地道な活動の結果、今では両町内会のエリアには、100を数える防犯灯(市及び企業管理分を含む)が設置されています。

防犯灯の新規設置・更新・維持にあたっては、多額の費用を要しますが、町内会会員の協力費や市補助金等で運用しています。両町



防犯協会のメンバー

内会から10数名の方がボランティアで参加され運営に携わっています。

夜間、県道69号線（北山・会津若松線）を旧市内から河東方面に車を走らせて来ると、煌々と灯が灯る街並みが現れますが、そこが正に六丁町内会と塩新町内会の入り口となっています。

### 町内会活動の紹介



堂島地区 柏原町内会

区 長 吉田 武幸

堂島地区区長会は、会津若松市の北端に位置し湯川村、喜多方市、磐梯町に隣接する18の集落により構成されており、行政はもとより各種団体との連携を図り活動を展開しております。

当柏原町内会は、戸数22戸、69名の住民により構成されており、住民の親睦融和と住みよい地域づくりのために、7つの各種団体と連携を図り活動しております。

町内会の事業として、新年会に

始まり春祈禱・百万遍、堰清掃、市道路肩清掃活動などがあります。特に春祈禱・百万遍は、神事と仏事を一緒に行うという変わった形態となっていますが、いつからこのような形態をとるようになったのかは定かではありません。住民が一堂に会し、村中安寧祈願と先人の供養をし、その後で懇親するという大切な事業であり、後世に伝承しなければならぬものだと認識しております。また、市道路肩清掃事業は、7月下旬に「道路愛護事業」の一環として行い、「冬木沢高野山参り」に参拝される方々に、清い気持ちでお参りしていただけるようにと思いを込めて実施しております。

しかしながら当町内会も、住民の半数以上が60歳以上であり、こういった事業の意義を伝え実施していくのが今後の課題であると思われれます。

最後に、当町内会北側にある日橋川に架かる「切立橋」についてご紹介いたします。この橋は、猪苗代第4発電所建設の資材運搬のために架けられた橋で由緒ある鉄橋です。今でも車で通ると、鉄橋であったことの名残を感じることができまます。機会があれば、是非訪れてみてください。

### 役員紹介

本会の会長・副会長・会計・監事を御紹介いたします。

(任期：令和4年4月の定時総会まで)

- 会長 渡部 洋子 (一 箕)
- 副会長 横山 一晴 (日 新)
- 〃 山野 皓正 (北会津)
- 〃 石田 実 (城 西)
- 〃 高橋 一浩 (堂 島)
- 〃 佐藤 一朗 (行 仁)
- 〃 渡部 美次 (東 山)
- 〃 小林 正一 (城 北)
- 〃 石田 忠司 (門 田)
- 〃 小檜山昭一 (湊)

### 編集後記

本会の第86号会報を市民の皆様にお届けすることができ、総務部としてうれしく思います。

会報では、地区の取組を周知するため、各地区からの寄稿により、活動紹介をしています。昨年度より、全市18地区を2分割し、隔年毎に9地区ずつ寄稿することとしました。よって、本号で全地区が寄稿したことになります。

新型コロナウイルス感染症が未だ収束しない中、どの地区にも、高齢化対策、防犯・防災、地区内のコミュニケーションの維持などの共通する課題がありました。そのような状況下においても、各地区ともに住民が協力し合っている、地区の発展・充実に尽力されている様子が伺われました。

今後とも知恵を出し合い、地区の発展に努力したいと思います。

(総務部副部長 菊池 芳次)

### 令和3年度区長会会報 第86号編集者

- 会 長 渡部 洋子 (一 箕)
- 副 会 長 横山 一晴 (日 新)
- 総務部長 芳賀 修二 (大 戸)
- 総務部副部長 森 宏道 (謹 教)
- 総務部委員 菊池 芳次 (神 指)
- 〃 佐藤 康毅 (行 仁)
- 〃 加藤 一彦 (鶴 城)
- 〃 室井榮之助 (謹 教)
- 〃 志賀 等 (城 北)
- 〃 大沼 進 (日 新)
- 〃 原田憲之助 (城 西)
- 〃 古川 敏浩 (高 野)
- 〃 樋山 公則 (門 田)
- 〃 大矢由紀江 (東 山)
- 〃 星 康一 (一 箕)
- 〃 齋藤孝市郎 (北会津)
- 〃 児島 均 (日 橋)
- 〃 山口 幸司 (八 橋)
- 〃 吉田 武幸 (堂 島)



編集にあたった総務部委員